

第 58 回全国大学対抗戦・第 44 回全国女子大学対抗戦『感染対策要項』

2021 年 5 月 2 日

日本学生ゴルフ連盟

感染対策小委員会

目次

はじめに・・・基本的観点と加盟員、関係者の心得について	2 ページ
1、検査方法とそれに対する諸注意事項	3 ページ
①唾液採取による PCR 検査の内容説明	
②検査方法の 検査時における手順と注意事項	
②-1) 検査キット送付先の指定と到着日	4 ページ
②-2) 検体採取実施	4 ページ
②-3) 検体送付	5 ページ
②-4) 検査結果判明通知（陽性・陰性）について	5 ページ
2、試合当日の会場入場時における感染対策チェック項目	6 ページ
① 入場時の流れの説明と提出義務書類について	
*入場を許可されないケースについて説明	
② 注意すべき服用薬について	
③ 入場チェック前に必ず守って頂きたい約束事→チーム責任者へのお願い	
3、その他の諸注意事項	7 ページ
①試合中、体調に異変をきたした場合	
②試合終了後の自制的な生活遵守のお願い	
③「体調管理チェックシート」の開始日	
4、特別ローカルルール	
*18 時以降の飲食の許可について	7 ページ

はじめに

選手、関係者の皆さま

2年ぶりとなる、コロナ禍での全国大学対抗戦・全国女子大学対抗戦開催に、ご理解とご協力の意を示して頂き、誠にありがとうございます。

本連盟主催競技開催に際して、感染対策の基本的考え方は、JGA、UNIVAS（大学スポーツ協会）の観点にリンクし、本連盟が医療専門家も交えて作成、ご提示させて頂いた「ガイドライン」に沿って活動して頂くことが全てのベースとなっております。

そして感染対策の指針として、

- ①加盟員とその関係者、ご家族の健康と命を守ることを最優先する。
 - ②責任を持って感染対策を徹底し、感染拡大防止に努め社会（日本国）に協力する。
- 以上の2つの骨子を指針とし、状況判断、運営に努めるものとします。

その為、試合中はもとより、普段の生活においても（特に試合の2週間前、2週間後）、ガイドラインを遵守した行動を徹底して頂くことが、感染防止の大前提となっております。

今一度このガイドラインを読み返して頂き、ご理解を深めて頂ければ幸いです。

変異株の感染拡大や欧米に比べてワクチン接種がままならず、いまだ収束の目処が立たない混沌とした状況において、新しい生活様式、新しい競技スタイルをより強く求められる今、本競技開催に携わる全ての関係者の皆さまが共通の目線を持ち、自制的で理性的な姿勢をもって本競技に臨んで頂き、大会の円滑な進行と成功をおさめることができますよう、

ご協力のほど、何卒よろしくお願い申し上げます。

日本学生ゴルフ連盟
感染対策小委員会一同

1、検査方法とそれに対する諸注意事項

①唾液採取による PCR 検査の内容説明

今年度、上記にあるように唾液採取による PCR 検査を、東京のヘレネクリニック様のご協力により、実施させていただきます。

その検査方法は、全ての大学に対し、以下の形で行います。

検査キットが各校の指定された住所に届き、その中にある所定の容器に、当該選手の唾液を採取し、それを所定の検査機関に送り返す！という、迅速かつ簡素化された最新の検査方法で、検体が検査機関（午前必着）に届いたら、当日夕方～夜に判定が出ます。但し、偽陰性など再検査が必要となった場合は、翌日に判定となります。

***検査費用に関しては、登録選手全員と主務1名（またはそれに準ずる者）のみが検査を受けて、1名当たり¥2000の費用負担となりますことをご承知おき下さい。**

なお、自身の大学に附属病院などが存在し、比較的容易に競技4～5日前以内に PCR 検査が受けられる大学に関しては、予め（競技開始の2週間前までに）学連事務所までご連絡下さい。その際の検査費用は、立替えて頂き、大学単位で後日精算とします。また、検査判定証明（陰性証明）は、競技開始の必ず4日前ないし5日前に学連事務所に提出すること（FAX可）。

*但し、本連盟からの負担援助額は税込2600円までとします。

指導者の方は（但し帯同1名まで）その分の費用負担はご本人負担とさせていただきます。本連盟が主導する今回の検査を受けても構いませんが、その費用は後日、本連盟よりご請求させていただきます。（ご負担金4600円）

勿論、指導者の方が、この検査方法ではなく、別の医療機関で検査を自費で受けても構いませんが、（但し、競技3日前以内）その際は、その判定証明（陰性証明）を、入場時にご提出を必ずお願い致します。

②検査方法の検査時における手順と注意事項

PCR 検査キットを、大学側が決めた代表者の所に送付し、その代表者の主導で、検査（唾液採取）を行い、採取後、速やかに所定の機関に返送するやり方となります。

②-1) 検査キット送付先の指定と到着日について

各大学の代表者（指導者か主将、主務、或いは、選手内の感染対策責任者）宛に人数分の「PCR 検査キット」が、下記の日が届きます。（運送事情で少し前に着くこともあり得ますが、ほぼ間違いなく下記の日が届きます）

・男女ともに全参加校→6月16日（水）に到着

＊その為、検査キットのお届け先住所・電話番号・代表者氏名とそして登録選手全員（プラス学生帯同者）の氏名・連絡先・生年月日を所定の「団体戦エントリー用紙」に記入し、検査の為の事前登録をお願い致します。指導者が受けられる場合も、その方の氏名・連絡先・生年月日をご記入下さい。

②-2) 検体採取実施について

各校代表者は検査キット到着後、速やかに下記の日にちに全員の検査を完了すること

・男女ともに全参加校→6月16日（水）遅くとも17日（木）午前中までに検査完了

各校の代表者が定める指定の場所にて、添付された検査マニュアルに従い、選手、関係者から唾液採取を行います。

その際の注意事項として、

- ・採取する場所が3密にならない所であること。
- ・採取する場所に向かう際に、密になるような移動を避けること。
- ・採取する際、密にならないよう「ソーシャルディスタンス」保持や換気を心がける。
- ・検体採取時間は、できる限り短時間（1時間以内）で一斉に済ませる。＊やむを得ず、長きに渡る場合、検体の保存は、日陰の高温にならない場所に保管する。（冷蔵庫可・但し検体なので保管方法に注意すること）
- ・採取1時間前までに水以外の飲食は済ませ、手指消毒し必ず歯を磨いておくこと。
- ・採取時は水以外の飲食はNG→不純物が入る懸念があるため

②-3) 検体送付について

検査対象の全員が採取し終わったら、マニュアルに従い、採取した検体を所定のパッケージ（箱、もしくは袋・封筒の予定）に入れ、梱包したら、それを本連盟が指定する検査機関の住所に速やかに送ること。

その際の注意事項として、各校責任者は、

下記の日にちに必ず発送を完了すること ＊翌日午前必着で送ること（着払）

・男女ともに全参加校→6月17日（木）発送

***検査機関 18日（金）午前中必着**

但し北海道と九州は物流日数の都合上、**19日（土）午前中必着**

*検体発送を速やかに行って頂かないと、検査機関への到着が遅れ、判定結果も立ち遅れ、大きな混乱を生じます。この部分は特に留意して、迅速に発送を行って下さい。所定の時間に到着せず、**判定できない大学は、残念ですが参加が認められません。**

検査を司る代表者は、責任を持って、検査の円滑進行、期日厳守に努め、万全の態勢で臨んで頂くことを切にお願い致します。

発送先（既に伝票に印字されています） *「午前必着」となっているか要確認

〒107-0062 港区南青山 5-9-15 OHMOTO ビル 3階

表参道へレネクリニック宛 TEL03-3400-2277 *水曜、日曜休診日

問い合わせ&担当責任者：総務部長 並木亜紀子さま TEL：050 - 3700 - 7486

・検体が、午前中に検査機関に到着した場合はその日の夕方～夜に検査判定（陽性・陰性）が出ます。但し偽陰性など再検査が必要な場合、その当該大学のみ翌日判定となります。

②-4) **検査結果判明通知（陽性・陰性）について**

もしも「陽性」判定が出た場合は、検査機関より本人へ連絡があるので、日本国の様式に基づき、検査機関の指示に従った行動をとって下さい。（検査機関から保健所にも連絡されます）

また、陽性判定者は、試合には出場できないので、陽性判定の結果を部の責任者に必ず報告して下さい。

報告を受けて、責任者は、まず所属大学当局にその旨の連絡を入れ、大学当局の指示・判断をあおいで下さい。大学当局からの指示が「チームの出場を認める」となった場合に限り、出場選手の変更を速やかに本連盟に申し入れて下さい。

今大会では、登録選手内であれば、直前の6月21日（月）までは変更を可とする。但し、「当日 選手変更届」の用紙に記入・提出すること *但し陰性の証明が必要。
*同一校から2名以上陽性者が出た場合は、クラスターの疑いとなり、その大学は出場できません。

★陰性判定の場合は、本連盟より、その旨を事前登録された代表者にお知らせ致します。前述の通り、検体が検査機関（午前必着）に届いた、その当日の夕方～夜に判定が出ます。但し、検体が午後着となった時や偽陰性など再検査が必要となった場合は、翌日に判定となります。

判定結果に関しては、個人情報ゆえ、基本として本人への通知となりますが、安全管理

面の見地から、本連盟の PCR 検査執行責任者（理事 金井）だけに 全員の検査結果データが送られてきます。その旨をご承諾下さい。

2、試合当日の会場入場時における感染対策チェック項目

① 入場時の流れの説明と提出義務書類について

入場の際は、本連盟が定める所定の場所（わかりやすい場所に設置します）にて、感染対策の見地で、一人一人チェックを行います。

1) まず、所定の項目（体調面や平均体温）をきちんと記入した「**体調管理シート**」を**必ず提出**→**シートを提出できない或いは内容が記入されていない場合入場できません。**

↓

2) シート提出時・直後すぐにサーモグラフィーによる「検温」を行います。

→その際、シートに記載の平均体温より 1 度を超えて高い体温の者は、「再検温」の場所に回って頂き、より精度の高い検温器で再度、測り直します。それでも、前述の規定「**平均体温より 1 度を超えて高い体温**」に抵触した者、又は **37.5 度以上の者は入場できません。**

②注意すべき服用薬について

以下の薬について、服用する際は重々気を付けて下さい。

- ・解熱剤・・・発熱症状があり、入場チェックを通過するための目的で事前に服用することを禁じます *服用する場合は、入場チェック許可が出た後に服用する
- ・鎮痛剤・・・鎮痛剤の多くは解熱剤と同じ薬剤です（例 ロキソニン、バファリン、イブプロフェン、ボルタレン、インドメタシン等）。従って、肘や腰などの痛みの為に服用した場合、解熱剤と同様の体温変化が生じます。解熱剤と同様に入場チェック許可後に服用してください。普段から服用している場合は、習慣化している日々の検温にて、その状況（体温変化）を把握しておくことが望まれます。

③入場チェック前に必ず守って頂きたい約束事→チーム責任者へのお願い

感染対策の大切なポイントとして、責任者の方は、以下の点を必ず遵守して下さい。

- 1) 当日の朝（試合会場出発前）に、発熱症状（平均体温より 1 度を超えて高い場合）がある者、或いは体調を崩している者はいないか？！の確認チェック。
- 2) 上記に該当する選手・関係者をコース入りさせない。
- 3) 「体調管理チェックシート」を忘れていないか？

3、その他の諸注意事項

①試合中、体調に異変をきたした場合

その場合、外傷など、その理由がはっきりしている場合を除き（例えば毒虫に刺された・転んで手を怪我した 或は本人がわかっている自己疾患等）、速やかに その症状を含めて本連盟の運営事務局に申し出ること。

その上で、

- ・コースから紹介頂いた近隣病院、または身近な医師に相談。
- ・救急車（119 番）へ連絡しそこで適切な対応して貰う。*このケースが最もあり得る。

★コロナ感染症が疑われる症状（発熱、味覚障害など）が 1 名でも発覚した場合は、検査結果が出なくとも、競技は男女ともに中止とさせていただきます。（初日なら競技不成立。

2 日目なら初日のスコアにて競技成立とする）

②試合終了後の自制的な生活遵守のお願い

その日の試合が終了した後も、ガイドラインにならって、感染対策の見地において、自制的な日常生活を過ごし、健全、健康な身体、体調管理を整えられるよう、宜しくお願い致します。

③「体調管理チェックシート」の開始日 * 試合開始当日から 15 日前

- ・男女ともに全参加校 →6 月 10 日（木）よりチェック開始となります。

4, 特別ローカルルール

ガイドラインでは、18 時以降の飲食を伴う店舗での客としての利用・食事や会話など感染リスクとなる滞在を禁止しておりますが

男女全国大学対抗戦会場である片山津 GC 様の周辺環境や、プレー終了時刻の時間帯を鑑み、下記内容のローカルルールを特別に定めますので、必ずご一読熟知の程、宜しくお願い致します。

●上記の通り、ガイドラインでは網羅できない環境要件があり得る為、18 時以降の 客として飲食店舗の利用を条件付きで認めることとします。但し、以下の点を遵守して下さい。

- 1, 食事をとる際は、その店舗の感染対策がきちんと成されている店舗であること（換気、クリアボードでの仕切りがある、ソーシャルディスタンスを保つテーブルレイアウトであること等）。
- 2, 食事をとる際は、最も安全なのは各自、各部屋で取ることです。しかしながらやむを得ない状況となる場合、必ず「黙飲食」とする。

*食事の際は、大量の飛沫が飛ぶことは、皆さんもご承知だと思います。飛んだマイクロ飛沫による感染例は周知のとおりです。

「黙飲食」がその感染確率を少なからず軽減できる手段として、上記条件を挙げさせて頂きました。

- 3, 食事に要する時間は、30～40 分を目安とし、食事を済ませたら速やかに宿舎に帰宅すること。

4, このローカルルールの時間的な許容時刻は「19 時 30 分まで」とし、その時刻以降の店舗滞在を禁止します。

本連盟としても事前準備含め、より円滑に推進できるように努めます。しかしながら不慣れな部分もあり、皆さまには細かい段取りを強いらせてしまいますが、感染対策の見地で、安心・安全な競技開催を具現化する為の大切な行動指標として、ご理解頂ければ幸いです。

このコロナ禍での競技開催が、皆さまにとっても本連盟にとっても、今後（未来）に繋がる有意義な開催となることを切に願っております。